

2022年度の社会貢献活動について

公益社団法人リース事業協会

はじめに

公益社団法人リース事業協会（以下、協会という。）では、リース契約が終了したリース終了物件（パソコン）を会員会社から無償で提供を受け、整備しソフトウェア（OS：Windows10）を搭載した上で、東日本大震災および自然災害により被災した方々を支援している非営利法人・団体や社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人・団体、各地の特別支援学校へ寄贈する活動を行っています。

2022年度の活動では、東日本大震災の復興支援として6非営利法人へ12台、社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人等への支援として12非営利法人・団体へ36台、特別支援学校への支援として18校へ36台、合計84台を寄贈（一部貸与）しました（表1）。

2011年度に本活動を始めてから2022年度までの寄贈数累計は2,033台となりました。

リース終了パソコン寄贈活動以外では、会員会社の協力により企業で使用されている封筒を特別支援学校へ寄贈しており、2022年度

は12.5万枚以上を寄贈し、全国の特別支援学校の作業学習で活用いただきました。

また、特別支援学校に会員企業からの作業依頼、作業学習用教材を提供する他、協会事務局から備蓄品等を非営利法人へ寄贈する活動を行いました。

当協会の社会貢献活動で使用するリース終了パソコンや封筒は会員会社から提供いただいています。これら物品の再利用は、リース業界全体で積極的に取り組んでいる3R（リデュース [発生抑制]・リユース[再使用]・リサイクル [再生利用]）の推進の他、CO₂削減にも役立っています（50頁図1）。

本稿では2022年度に実施した協会の社会貢献活動についての報告と2023年度の活動計画をご紹介します。

1. 東日本大震災復興支援活動

[対象:被災3県(岩手県・宮城県・福島県)]

東日本大震災復興支援活動では、被災現場で活動を行う非営利法人・団体のニーズと、支援を行いたい企業等をマッチングする復興

表1 2022年度リース終了パソコン寄贈実績

	寄贈先	寄贈台数
東日本大震災復興支援活動	6法人	12台
上記以外の自然災害の被災地支援活動	—	—
社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人等への支援活動	12法人等	36台*
特別支援学校に対する支援活動	18校	36台
総計	36	84台

*貸与パソコン含む

庁の「被災者支援コーディネート事業」を活用しています。

2022年度、協会では岩手県の4法人へ8台、宮城県の1法人へ2台、福島県の1法人へ2台のリース終了パソコンを寄贈しました（表2）。

寄贈先の法人は、地域で様々な活動を行う団体等の事業をサポートする中間支援を行っている他、県外避難者への支援、災害時に情報提供を行うFM放送の配信、心身健康づくり、震災伝承等の活動を行っています。

2011年に発生した東日本大震災から12年が経過し、災害発生時は47万人だった避難者は、2023年2月時点で3.1万人に減少しました。応急仮設住宅の入居者は、最大31.6万人

から2023年3月時点で0.1万人に減少しました。震災以降、高齢者等の見守り・心身のケア・コミュニティ形成の支援・生きがいがづくり・子どもへの学習支援や心のケア等の取り組みが継続されています。

福島県で見ると、避難指示解除区域全体の居住者数は徐々に増加し、2017年4月は約0.4万人でしたが、2023年1月時点で約1.6万人となっています^{*1}。

今後は帰還地域での生活環境の整備推進および帰宅困難区域の復興・再生が期待されます。

※1 復興庁「復興の現状と今後の取組（令和5年4月）」より

表2 寄贈先法人

	寄贈先法人名	活動拠点	寄贈台数
1	特定非営利活動法人陸前高田まちづくりセンター	岩手県	2台
2	特定非営利活動法人防災・市民メディア推進協議会	岩手県	2台
3	特定非営利活動法人エムジョイ	岩手県	2台
4	特定非営利活動法人いわて連携復興センター	岩手県	2台
5	一般社団法人みやぎ連携復興センター	宮城県	2台
6	一般社団法人ふくしま連携復興センター	福島県	2台

〈リース終了パソコンの活用方法など（抜粋）〉

- ▶ 書類作成やデータ整理、管理、情報発信等の活動にパソコンを活用する。また、コロナ禍でオンライン会議を主催、参加する機会が増加したため、オンライン会議にも活用したい。
- ▶ 災害時の割り込み放送に使うパソコンがXP等の状態だと災害時に使えないという状況が起こりうるため、パソコンのグレードアップは必須である。今回ご寄付頂けるのであれば、市民に災害時に情報提供が安心してできる環境を作ることができる。
- ▶ 関係者間へのヒアリングや研修会の実施は外での活動となるため、持ち運びが多く使用するパソコンの経年劣化も激しい。寄贈パソコンは、復興において大いに活用させて頂きたいと思う。
- ▶ 支援先の団体や被災地域では、高齢化が進んでいる。その地域の方々を対象としたパソコン教室を開催したい。
- ▶ 復興財源で行われている様々な取組みを、平時の施策にいかによりライティングできるかが、これからの大きな課題になっている。復興財源の終わりが復興支援の終わりにならないよう、地域の皆様とコミュニケーションを図りながら、持続的な地域支援の形を考えていきたいと思う。

※寄贈パソコン応募時等にいただいた情報により作成しました。

2. 自然災害の被災地支援活動

[対象：全国]

自然災害発生時に被災地・被災者を支援する活動をさらに充実させていくため、協会では2022年11月11日付で「緊急災害対応アライアンスSEMA^{*2}」へ加盟しました。

緊急災害対応アライアンスSEMAは、ヤフー株式会社に事務局が置かれており、2023年4月現在、企業76社・災害時に現地でニーズを把握する活動を行う市民団体（CSO）6団体が加盟しています。

日本国内において大規模な自然災害の発生時に、民間企業と市民団体が連携し、現地ニーズに応じて必要な物資・サービスを迅速に提供するしくみです。

※2 <https://sema.yahoo.co.jp/>

3. 社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人等に対する支援活動

[対象：全国]

2022年度の「社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人等に対する支援活動」では、公共機関（児童相談所・区市町村役場・学校等）と連携し

- ① 児童養護施設以降の生活等を支援
- ② 社会的養護^{*3}が必要な児童等への支援
- ③ 長期療養・病弱児の院内学習支援

上記3つの活動を行う非営利法人・団体および、子どもの貧困・教育問題に取り組む4非営利法人から申し込みを受け、審査の後、リース終了パソコン8台を寄贈しました（表3）。

また、子どもの貧困・教育問題に取り組む8非営利法人・団体に対し、リース終了パソコン28台を無償貸与^{*4}しました（表3）。

長期療養・入院治療が必要な子どもはコロナ禍で、外出自粛や感染症対策による面会制限が続き、コミュニケーションをとることで教育支援を受けることが難しい状況が続きましたが、パソコンを使用することでZoomによる交流活動を行うことができます。

また、児童養護施設を退所後、あるいは刑務所や少年院等の矯正施設を出所・出院した後の若者や親を頼ることができない子ども・若者は、就労・住居・ソーシャルスキルの未熟さなど、自立のためのハードルが多く存在します。就労のためのスキルを身につけるため、あるいは就労に関する情報収集などにおいてパソコンを活用いただきます。

一方、貸与パソコンは子どもの貧困・教育問題にフォーカスした支援活動・フードバンク事業を行う法人・団体において、事業の合理化やオンライン支援が受けられるよう、児童生徒への貸出などの用途で活用いただきます。

2022年度に実施したその他備品の寄贈活動としては、協会事務局において備蓄している食品・飲料水をフードバンク1法人へ寄贈しました。

※3 保護者のいない児童や、保護者がいても何らかの理由で育てることが困難な児童など、保護や養育を必要とする子どもに対し、行政の責任で保護・養育を行うしくみを、「社会的養護」と言います。

※4 貸与期間は2024年11月29日までとなりますが更新可能としています。貸与パソコンにはシチズンシップライセンスによるソフトウェア（OS：Windows10）の他、Office2010が搭載されています。

表3 寄贈・貸与先法人

寄贈先法人名		活動拠点	寄贈台数
1	認定特定非営利活動法人ポケットサポート	岡山県	2台
2	一般社団法人コンパスナビ	埼玉県	2台
3	一般社団法人皆登会	埼玉県	2台
4	特定非営利活動法人トナリビト	熊本県	2台
5	特定非営利活動法人こうべユースネット*	兵庫県	2台
6	認定特定非営利活動法人文化学習協同ネットワーク*	東京都	2台
7	認定NPO法人3keys*	東京都	2台
8	特定非営利活動法人アスイク*	宮城県	4台
9	特定非営利活動法人寺子屋方丈舎*	福島県	4台
10	特定非営利活動法人TEDIC*	宮城県	4台
11	はるかかわ地域食堂*	大分県	5台
12	一般社団法人花鶏学苑*	岩手県	5台

*貸与法人



〈リース終了パソコンの活用方法など（抜粋）〉

- ▶ 事業内容の拡大や寄付者の増加に伴い事務作業が増えており、データ入力や資料印刷業務に活用したいと考えている。入院治療中や自宅治療中の児童生徒とは感染症対策や面会制限を続けており、Zoomを使って交流活動を行う際にも活用したい。
- ▶ 当法人は、児童養護施設等社会的養護を経験した若者の就労支援・住居支援・生活/自立支援・居場所事業・運転免許取得助成を行っている。施設内のパソコン台数が十分でなく触れる機会が少なかったり、高校中退して学ぶ機会がなかったりした者が多い。就労先の選択肢を広げるITスキルを身につけるために、法人としてパソコンを備えて彼らの就労前訓練を効果的なものになりたい。
- ▶ 当法人は、刑務所及び少年院等の矯正施設を出所・出院する等した後に社会的援助が必要な方々を支援する団体である。被保護者のスキルアップ研修および職探し等の就職活動に使用する専用のパソコンがなく難儀している。ご支援頂くことができれば被保護者の就労支援に大変大きな支えとなる。
- ▶ 当法人では、親に頼れない子ども・若者を対象に自立支援・就労支援を行っている。事業を拡大している中で、データ管理や事務作業が増えてきた。現在使用しているノートパソコンだけでは対応できなくなっているため、是非貴法人の寄贈を希望する。
- ▶ パソコンをご寄贈頂きまして誠にありがとうございます。実親を頼れない若者たちが、自分の力で生きていく力を身につける一助とさせていただきます。子どもたちの仕事・明るい未来に繋がるよう、大切に活用させて頂く所存です。

※寄贈パソコン応募時等にいただいた情報により作成しました。

4. 特別支援学校に対する支援活動

①特別支援学校に対するリース終了パソコンの寄贈 [対象：北海道]

特別支援学校に対するリース終了パソコン寄贈活動では、全国の特別支援学校のうち、パソコン整備率（文部科学省：学校における教育の情報化の実態等に関する調査）などを勘案し、2022年度は北海道へ寄贈のご案内をしました。応募のあった18校に合計36台のリース終了パソコンを寄贈しました。

政府のGIGAスクール構想により、教育現場におけるパソコン設置状況は改善してきているようですが、特別支援学校の現場の声を聞くと、ノートパソコンの設置状況については依然として生徒が自由に使用できるパソコンが不足していることや、古いバージョンのパソコンを使用せざるを得ない状況があること、特別支援学校特有の「生徒数の増減が日

常的にある」ことに対して、在籍生徒分のパソコン台数が確保できていない等のケースがあるようです。

また、GIGAスクール構想により導入されたICT機器がタブレット端末であった学校においては、児童生徒の学習面で考えた際に、キーボード入力やマウス操作という基本的な操作を練習するためのパソコンの整備を充実させていくことが課題として挙げられていました。

特別支援学校では児童・生徒一人一人の特性にあわせた教材の作成が必要であり、教員だけでなく、寄宿舎の指導員あるいは学校の支援者向けのパソコンも必要となってきます。また、児童・生徒の立場からも、十分練習を行い就職の際にも役立つ技術習得のため、ノートパソコンが求められていることから、特別支援学校向けの支援活動の継続が望まれます。

〈リース終了パソコンの活用方法など（抜粋）〉

- ▶ 寄宿舎指導員分のパソコンは予算措置されていないため、教職員用パソコン更新後の古いパソコンを使用している。現在寄宿舎で使用しているパソコンは全てWindows8.1であるため、Windows10以降のOSを搭載した新たなパソコンを必要としている。
- ▶ Windows 8.1のサポート終了に向けて、必要なPC台数を確保することが難しい状況であるため、今回のWindows 10搭載のPCを寄贈して頂けるお知らせは大変ありがたい。
- ▶ 予備機がほとんど無く、現有の校務用パソコンが故障した場合に対応できなかつたり、教職員以外が使用するためのパソコンが不足している状況。
- ▶ 児童・生徒が情報活用能力を育成するために、調べ学習等で使用したいと考えている。
- ▶ ご寄贈いただきありがとうございました。状態が想像以上に綺麗だったため、職員一同喜んでます。大切にに使わせていただきます。

※寄贈パソコン応募時等にいただいた情報により作成しました。

②各地の特別支援学校に対する作業学習用教材の提供 [対象：全国]（表4）

当協会では、社名変更や事務所移転などにより、会員会社で使用されなくなった封筒や各種教材を特別支援学校へ寄贈し、作業学習で活用いただいている他、会員会社から依頼

される作業を特別支援学校で実施しています。

2022年度は会員会社17社の協力により、合計12.5万枚を超える封筒を寄贈した他、教材提供や作業依頼を1道1都1府20県合計46校へ実施しました。

全国各地の多くの特別支援学校で行われている、アビリンピック^{※5}へ出場するための練習は、多くの封筒が必要とされます。その他、一般的な特別支援学校の作業学習において、発送作業の練習（ラベル貼・宛名書き・封入・封緘・押印）で封筒を利用した後、最終的にシュレッダー作業までを行っている他、会社情報部分にマスキングテープや紙などを貼付した上で、校内配布物用の封筒の作成や、保護者とのやり取り用の封筒作成、ポチ袋や装飾を施し持ち手を付けたバックなどを作成しています。

コロナ禍の状況において近隣企業等から提

供いただいていた作業学習教材が大幅に減った学校もあり、作業学習用教材の提供活動は大変喜ばれています。

また、再生封筒のデザインをどのようにするのかを生徒達自身でじっくりと考えてもらう学校もあり、新しい学びのきっかけ作りにもなったようです。

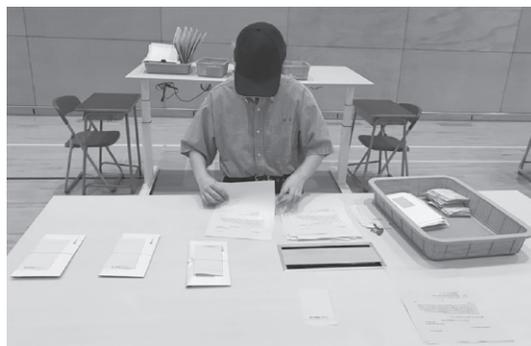
※5 全国障害者技能競技大会。「アビリンピック」(ABILYMPICS)は、「アビリティ」(ABILITY・能力)と「オリンピック」(OLYMPICS)を合わせたもの。事務補助に関する技能については「オフィスアシスタント」という競技課題があります。

〈作業学習用教材の活用方法など（抜粋）〉

- ▶ ラベル貼り・封緘・枚数のカウント・スタンプの押印練習。
- ▶ アビリンピック「オフィスアシスタント」の練習（ラベル貼り、仕分け、封入等の練習）。
- ▶ 生徒たちは本物の封筒を使い、よりリアルな作業を行う機会を与えていただき、生き生きとそして「お仕事」という緊張感をもって作業を行うことができました。本当にありがとうございました。
- ▶ 新型コロナの影響により、これまで近隣の企業等から提供頂いていた作業学習教材が大幅に減ったため、大変有難い。
- ▶ 寄贈品に、職員一同喜んでおります。たいへんありがとうございました。活用方法などについての話しも盛り上がり、今後の学習の広がりを感じたところです。生徒の成長につながるよう、大切に使用させていただきます。
- ▶ 学習活動で自由に活用できる封筒やファイルがあるのは非常に助かります。アイデア次第でいろいろと活用することができそうです。

※寄贈封筒応募時等にいただいた情報により作成しました。

特別支援学校での作業の様子と作品





③東京都立港特別支援学校の作業学習への協力 [対象：東京都] (表4)

東京都立港特別支援学校での就労移行支援活動^{*6}は、普通科（オフィスワーク）10名および職能開発科20名の生徒を対象として実施しました。

2022年度は新型コロナウイルスの影響を大きく受けることはなく、当初の計画どおり合計6回の作業学習を対面で行うことができま

した。

2020年4月から協会主催の会議・研修会等は、Web形式が主流となり、新型コロナウイルスが落ち着いた後も、ハイブリット型（Web・対面）で開催していることや、紙資源削減のために郵送物を減らしていることもあり、発送作業数は減少していますが、郵送が必要な調査関係の業務については、発送作業を依頼しています。

普通科では、郵便物の発送作業（押印・ラベル貼付・2つ折り・丁合・封入・封緘）や、紙ファイル^{※7}へ貼付するシールの整形作業などを行っていただいた他、ビジネスマナー・事務作業に役立つミニ講座・メモを取る練習も行いました。

年度最後の作業学習では、3年ぶりに当協会会議室で作業を行っていただき、1年間の作業のお礼に、生徒の皆様へ感謝状をお渡しすることができました。

一方、職能開発科では、昨年度に引き続き、協会事務局に所蔵している書籍の奥付をデータ入力する業務を依頼した他、紙ファイルへのシール貼付作業、宅配伝票と経理伝票への転記作業も依頼しました。

※6 就労移行支援活動は、企業に就職する前段階（学校）においてあらかじめ、企業で行われている郵便物の発送など、一部の業務を学校内で体験することで、就職後の業務がスムーズに行えるようになることを目的とするとともに、学校関係者以外の第三者（作業依頼者）との会話とおし、コミュニケーション能力を向上させ、自信をもって社会に出てもらうことを目標にしています。

※7 「プラスチック資源循環促進法」が施行されたこともあり、プラスチック使用量の削減と環境への配慮を目的とし、クリアファイルの購入を抑え、紙ファイルを導入しました。作業学習として、紙ファイルへ協会ロゴなどが表記されたシールの貼付作業を依頼しています。

〈作業学習に参加した生徒の感想（一例）〉

- ▶ 色々なことを教えて頂き、特に印象に残っているのは、ビジネスマナーやメモ練習をしたことです。これらを今後活用していけるように頑張りたいと思います。
- ▶ 付箋の使い方や紙の数え方など、仕事をする上で応用できることをたくさん学ばせてもらいました。これらを社会人になっても続けていきたいです。
- ▶ メモ取りの時に単語でメモをとれるようになりました。他にも色々教えていただけたので働く時の不安が無くなりました。
- ▶ ビジネスマナーで学んだ仕事で大切なことやメモの取り方、コミュニケーションの取り方を活かして働いていきたいと思います。



表4 作業学習用教材の提供活動

教材内容	提供先
封筒提供：合計125,535枚	北海道 1校 宮城県 1校 秋田県 2校 茨城県 1校 栃木県 2校 群馬県 5校 千葉県 2校 山梨県 1校 三重県 2校 石川県 1校 福井県 1校 鳥取県 2校 大阪府 1校 奈良県 3校 岡山県 3校 広島県 1校 愛媛県 1校 福岡県 1校 熊本県 4校 大分県 1校 宮崎県 1校
作業（押印・社内封筒作成・マーカー引き）	東京都 3校
書類・調査票発送作業（ラベル貼・2つ折り・丁合・封入・封緘等）	東京都 1校
パンフレット発送作業	東京都 1校
冊子発送作業	東京都 1校
書籍奥付DB作成作業	東京都 2校
宅配伝票・経理伝票への転記作業	東京都 1校
紙ファイルへのシール貼付作業	東京都 2校
PDFファイル化作業	東京都 1校
封入練習用パンフレット・チラシ・冊子・色裏紙の提供	群馬県 1校 栃木県 1校
クリアファイルの提供	北海道 1校 秋田県 1校 群馬県 2校 東京都 5校 山梨県 1校 三重県 2校 福井県 1校 鳥取県 2校 島根県 2校 大阪府 1校 岡山県 1校 大分県 1校 宮崎県 1校
その他の寄贈品の提供	北海道 1校 秋田県 1校 群馬県 2校 東京都 3校 山梨県 1校 三重県 2校 福井県 1校 鳥取県 2校 島根県 1校 大阪府 1校 岡山県 1校 大分県 1校 宮崎県 1校

※上記は、協会事務局からの提供を含みます。

5. 2023年度の活動計画

2023年度の社会貢献活動は、引き続き下記の3分野での活動を予定しています。

これらの活動を実施するために必要となるリース終了パソコンおよび作業学習用教材に

ついては、会員会社から募集します。

①東日本大震災等の自然災害の被災地に対する支援活動

東日本大震災の被災地・被災者支援では、引き続き復興庁「被災者支援コーディネート

事業」を通じたリース終了パソコンの寄贈活動を行います。[対象：岩手県・宮城県・福島県]

また、自然災害において被災地域・被災者を支える活動を行う非営利法人・団体を支援する活動を継続する他、当協会が加盟している「緊急災害対応アライアンスSEMA」から支援要請があった場合、リース終了パソコン等の支援活動を行います。[対象：全国]

②社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人等に対する支援活動

2023年度における「社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人等に対する支援活動」では、公共機関（児童相談所・区市町村役場・学校等）と連携し

- ①児童養護施設以降の生活等を支援
- ②社会的養護が必要な児童等への支援
- ③長期療養・病弱児の院内学習支援

上記3つの活動を行う非営利法人・団体および、子どもの貧困・教育問題に取り組む非営利法人・団体を支援する活動を継続します。[対象：全国]

③特別支援学校に対する支援活動

「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」（文部科学省）を基に、全国の特別支援学校におけるパソコン整備率などを勘案し、特別支援学校へリース終了パソコンを寄贈する活動を行う他、会員会社からの作業

学習用教材を提供する活動を継続します。[対象：全国]

また、東京都立港特別支援学校における就労移行支援活動についても継続します。[対象：東京都]

さいごに

2022年度は年度末にかけ、ようやく新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、以前の状態に戻すべく、様々な場面で対応が進められています。経済活動・学校活動が活発になるにつれ、リース終了パソコンや作業学習用教材のニーズも高まることが予想されます。

今後も、迅速に支援活動を行うことができるよう、万全の準備をしております。

52頁からの別添資料では、リース終了パソコンや作業学習用教材を寄贈した非営利法人・団体・特別支援学校からいただいた声を紹介しています。リース終了パソコンや作業学習用教材が様々な場面でお役に立っている様子がうかがえますので是非ご一読ください。

最後になりましたが、リース終了パソコンの寄贈活動および作業学習用教材の提供活動は、会員会社の協力を得て、数多くの方々に支えられて成り立っています。当協会の社会貢献活動にご協力いただいているすべての企業・団体・教育機関の皆様には厚く御礼申し上げますとともに、今後とも引き続きご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

【参考資料】

〈リース終了パソコン寄贈活動の展開〉

2011年度～2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
被災3県の公的教育機関 889台						
被災3県の学校図書館 182台						
被災3県の工業高等学校 40台						
被災3県で活動をする非営利法人等 197台						
災害支援を行う非営利法人等 200台						
社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人等 188台						
特別支援学校 337台						

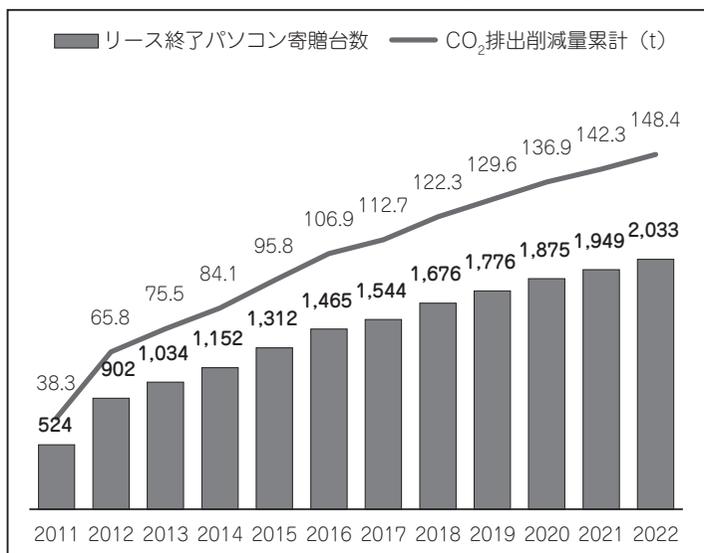
〈リース終了パソコンの寄贈・貸与*実績〉

(単位：台)

支援活動	2011年度 ～2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	累計
東日本大震災復興支援活動	1,185	42	29	19	11	1	9	12	1,308
上記以外の自然災害の被災地支援活動	10	91	10	54	20	10	5		200
社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人等への支援活動			12	31	13	68	28	36*	188
特別支援学校に対する支援活動	117	20	28	28	56	20	32	36	337
合計	1,312	153	79	132	100	99	74	84	2,033

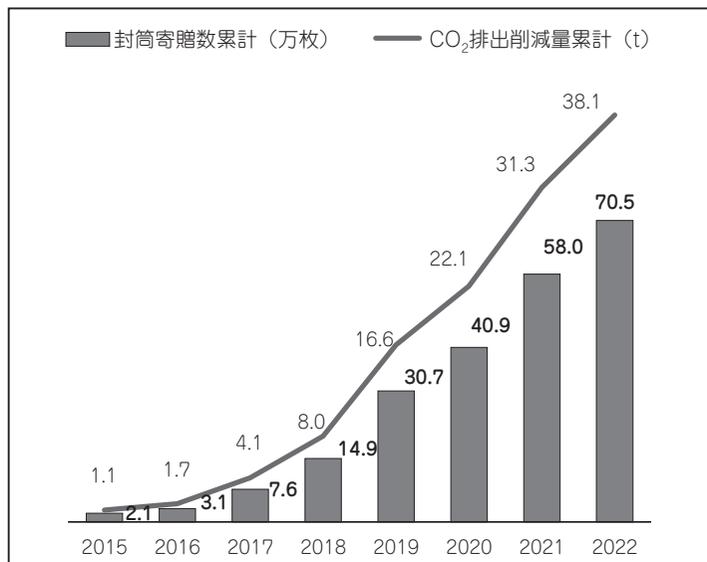
図1 当協会の社会貢献活動で削減できるCO₂の排出抑制効果

〈リース終了パソコンの寄贈台数とCO₂排出削減量（累計）〉



* CO₂排出削減量はメーカーA社の公表データに基づき試算しました。リース終了パソコンを再利用することにより、新品パソコンの製造から出荷までのCO₂の排出量が削減できます。

〈作業学習用教材の寄贈数とCO₂排出削減量（累計）〉



* CO₂排出削減量はメーカーB社の公表データに基づき試算しました。封筒を再利用することにより、新品封筒の製造から出荷までのCO₂の排出量が削減できます。

【リース終了パソコンを提供した会員会社名（2022年度）】

[正会員]

NTT・TCリース(株)／オリックス(株)／鹿島リース(株)／JA三井リース(株)／東京センチュリー(株)
芙蓉総合リース(株)／みずほリース(株)／三井住友トラスト・パナソニックファイナンス(株)
三菱HCキャピタル(株)／三井住友ファイナンス&リース(株)
NECキャピタルソリューション(株)／昭和リース(株)／山梨中銀リース(株)

【作業学習用教材を提供した会員会社名（2022年度）】

[正会員]

みずほ東芝リース(株)／三井住友トラスト・パナソニックファイナンス(株)／ごうぎんリース(株)
三菱電機フィナンシャルソリューションズ(株)／東銀リース(株)／オリックス(株)
SFIリーシング(株)／FLCS(株)／JA三井リース(株)／昭和リース(株)／芙蓉総合リース(株)
みずほ丸紅リース(株)／みずほリース(株)／三井住友ファイナンス&リース(株)
三菱HCキャピタル(株)／山梨中銀リース(株)

[賛助会員]

AJCC(株)

(別添)

*寄贈パソコン・封筒応募時に各法人・団体・教育機関からいただいた情報および寄贈後にいただいたお礼等をもとに作成しました。

リース終了パソコン寄贈活動

【東日本大震災の被災地支援】
(岩手県)

支援活動内容	パソコンの状況・使用目的	課題・その他
<p>市民活動団体に対して、活動相談窓口を常設し組織運営・事業運営・仲介、ネットワーク作り等の支援活動を実施している。また、地域の人材発掘、育成、市民のつながりづくりを目的として研修会や講座、イベントの企画運営にも取り組んでいる。他に、震災により弱体化・再構築が必要になった地域団体に対する組織基盤強化の伴走支援や、他団体と連携して災害公営住宅の自治会運営のサポートも実施している。</p>	<p>市民活動支援及び地域づくり支援、人材発掘、育成や被災した地域コミュニティ等への各種支援に関して、書類作成やデータ整理、管理、情報発信等でパソコンを活用する。また、コロナ禍でオンライン会議を主催、参加する機会が大幅に増加したため、オンライン会議にも活用したいと考えている。</p>	<p>当法人は民間民営で市民活動支援センターの運営を実施してきたが、復興予算が縮小されてきた中で、活動資金の調達が一番大きな課題である。これまでの活動実績を踏まえて、行政へ事業化の提案を考えながら長期的に活動が可能となるように努めていきたいと考えている。</p>
<p>現在の活動は、「FMねまらいん」の運営である。FMねまらいんは、地元住民をパーソナリティに迎えた地域に密着した番組や、行政情報、交通情報、スポンサー企業のお買い得情報等の地元情報を盛り込んだコミュニティFMである。地域に出向き、コミュニケーションを図りながら地域に愛される情報番組を目指して普段は活動している。災害時には割り込み放送として災害情報を発信しており、様々な災害情報を取得するツールの一つとして市民に認識されている。</p>	<p>現在、事務作業や災害時の割り込み放送を行うために、パソコンのOSがサービス終了したXP等を使っている。災害時の割り込み放送に使うパソコンがXP等の状態だと今は使えてもこれからの災害時に使えないという状況が起こりうるため、パソコンのグレードアップは必須である。今回ご寄付頂けるのであれば、市民に災害時に情報提供が安心してできる環境を作ることができる。また、オンラインに繋ぐことができないため、運営や活動に関する作業を私物のパソコンで行っており、自団体で使えるパソコンがあることで安全な運営が行えるようにしたい。</p>	<p>今後も災害時の情報取得といった観点でFM放送は必要なツールだと認識している。行政との話し合いと自団体での財源確保をしっかりと考えていきたい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・復興に特化した中間支援 ・岩手県域の市民活動支援 ・地域コミュニティ支援 ・防災への取り組み ・震災伝承、アーカイブ 	<p>昨今、被災地で活動するNPOや岩手県内で活動するNPOを対象としたセミナーや会議において、オンラインもしくはオンラインとリアルを組み合わせたハイブリッド形式による開催が多くなっている。パソコンは、上記のようなオンライン配信ツールとして使用させて頂きたいと考えている。</p>	<p>復興財源で行われている様々な取組みを、平時の施策にいきなりライティングできるかが、これからの大きな課題になっている。復興財源の終わりが復興支援の終わりにならないよう、地域の皆様とコミュニケーションを図りながら、持続的な地域支援の形を考えていきたいと思う。</p>
<p>①東日本大震災の時には仮設住宅で生活を送られているご家族より「こどものびのびと動き回るスペースがない」「ご高齢の方々は交流機会が無く孤立化したり引きこもってしまっている」といった課題があったことから、学校体育館及び仮設住宅集会所で、身体を動かし心身リフレッシュ及び交流を深めてもらう活動をスタート。 ②現在はスポーツや各種文化交流・イベントを通じ幅広い世代の心身健康づくりに取り組んでいる。また社会福祉協議会や各自治会と連携して、高齢者の介護予防運動にも取り組んでいる。他には定期的に自然体験会や各種郷土勉強会等も企画から実施。</p>		<p>コロナ感染症の影響で、対外的な活動は減少し続けていたが、今年度後半からは他地域での活動協働及びオファーも増えてきている。新たな地域での活動のリーダー的存在をしっかりと育て、より長く活動が根付けるように取り組んでいく。</p>

(宮城県)

支援活動内容	パソコンの状況・使用目的	課題・その他
現在、各課題の解決やアドバイザー等のマッチング事業として復興庁から被災者支援コーディネート事業を受託する他、宮城県域における自治会等への支援として地域コミュニティ再生支援事業、福島県外避難者への相談・交流事業、復興支援員へのサポート事業、中山間地等における集落体制支援事業を実施している。対話する力を通じて、東日本大震災からの復興に資する活動を行うとともに、宮城県及び全国の多様な主体と共に協働を生み出し、その成果と教訓の蓄積を通し、復興を契機に切り開く創造的で自律的な社会の実現を目指している。	現在、当センター職員が被災地において、関係者間へのヒアリングや研修会を実施しているが、外での活動となるため、持ち運びが多くパソコンの経年劣化が激しいため、研修会等の実施について難を要している。 今回、リース事業協会様から御支援を頂き、宮城県域における現地でヒアリングや各種研修会を積極的に実施し、被災地の情報収集や情報発信、各種交流を図ることで、今まで以上に現地の声を取り入れ復興支援事業に寄与していきたいと思っている。	復興期間の終了とともに、予算の縮小化が図られている中で、活動の継続に大きな課題がある。また、人口減少、少子高齢化といった平時からの課題が重なり、地域にある課題の多様性が問題となっている。それらの課題に一概に対応することは困難である一方、復興から平時に変わっても各団体が繋がり続け、行政や地域と連携しながら、継続的に活動するネットワークがあることで、地域の対応力を底上げし、これらの課題解決に向けた持続的な動きが生まれつつある。当センターにおいては、これらのネットワークを整理し、宮城県域で連携できる体制・仕組みづくりを創っていきたいと思っている。 この度はリース終了パソコンを寄贈頂き、本当にありがとうございます。復興において、大いに活用させて頂きたいと思います。

(福島県)

支援活動内容	パソコンの状況・使用目的	課題・その他
1. 被災地支援に於ける多様な課題に対応しコーディネートする取組：被災者支援に関わる現状・課題、個別のニーズ等を把握し、課題やニーズに対し、多様な活動主体による支援をコーディネートする。また、地域における連携・協働体制構築支援を行うとともに、活動事例や連携事例を被災地域全体及び全国へ波及させるために会議等を開催する。 2. 県外避難者を支援する取組：福島県からの県外避難者を避難先で支援する26か所の「生活再建支援拠点」を設置・運営のサポート。また、避難者や支援者からの相談受付窓口「ふくしまの今とつながる相談室 toiro」の運営。 3. 地域おこしの担い手や県外からの移住者を支援する取組：地域おこし協力隊・復興支援員を『地域の担い手』として紹介。また、『地域の担い手』の募集活動や任期中の研修、人的ネットワーク形成の支援等、地域で活動するための包括的なサポートを行っている。	<ul style="list-style-type: none">イベントや会議等に出席する支援団体様に貸し出す。被災者支援を行っているため、浜通り等への外出が多い。普段使用しているパソコンは機密情報が入っており持ち出せないため、持ち出し用のパソコンとして使用。職員の増員や学生インターンの予定があるため、それに伴うパソコンの増設。	<ul style="list-style-type: none">支援先の団体や被災地域では、高齢化が進んでいる。その地域の方々を対象としたパソコン教室の開催。IT化が進んでいる反面、同時に高齢化も進んでいる状況で、高齢者の方でもタブレットのように簡単に操作できるように工夫が必要なのではないか。

【社会的な課題の解決に向けた活動を行う非営利法人等支援】

(宮城県)

リース終了パソコンが必要な理由/リース終了パソコンを活用してどのような活動を行うのか具体的な計画	その他・今後の課題・将来的な計画等
	パソコンのご提供、ありがとうございます。オンライン支援の貸し出しなどの用途で活用させていただきます。
	2年間、大切に使用させていただきます。

(埼玉県)

リース終了パソコンが必要な理由/リース終了パソコンを活用してどのような活動を行うのか具体的な計画	その他・今後の課題・将来的な計画等
<p>当法人は、児童養護施設等社会的養護を経験した若者の就労支援・住居支援・生活/自立支援・居場所事業・運転免許取得助成を行っている。施設退所後の進路として学校の進路指導も施設の方針としても寮付きの就職を優先することが多く、必ずしも当人の興味・関心・適性に合ったものではないことが多い。</p> <p>ソーシャルスキルの未熟さもあり、退所して就いた職もほどなく辞めて住まいも同時に失い、スマホ料金の滞納等経済的な困窮の度合いが進み、知人宅・ネットカフェ・野宿を転々としてようやく出身施設に相談をして当法人に相談に来るケースがほとんどである。</p> <p>生活再建の見通しを立てつつ、障害者就労や、対人スキルの未熟さ、特性を考慮して雇用して頂ける企業とのマッチングをはかる就労支援を行っている。</p> <p>虐待のトラウマ、発達障害の特性があるが施設入居中に精神障害者手帳を取得できないまま施設等を退所してしまった相談者もあり、障害者就労や就労移行支援事業所につながる事が難しい。そのため当法人内で、ワード・エクセル等基本的なITスキル訓練を行うケースがある。</p> <p>また、施設入所中には施設内でパソコン台数が十分でなく触れる機会が少なかったり、高校中退して学ぶ機会がなかったりした者が多い。就労先の選択肢を広げるITスキルを身につけるために、法人としてパソコンを備えて彼らの就労前訓練を効果的なものにした。2021年度には、鬱病病中で生活保護下にある施設退所者に在宅でできる仕事としてデータ入力作業を経験させた。ITスキルの獲得が多様な就労につながる手ごたえを感じた事例である。自信を持たせ、就労の定着に伴走しながら納税者に育てていくことができると考えている。</p>	<p>当団体と退所者たちが、施設等退所後、養育里親家庭巣立ち後に、複数の課題を背負って困窮してから初めてつながるだけでなく、施設入所中（措置下にある）から、知っている団体だ、困ったら相談しよう、頼っていいんだと思ってもらえるよう当団体と交流をして関係性を築いておくことを充実させていきたい。職業適性検査、金銭管理教育等を施設と連携して行っており、企業見学の経験の場を設けていきたい。ほかに18歳成人にともなう契約行為の学習、法律の知識、一人で自活していくためのステップハウス体験を充実させていきたい。</p> <p>審査結果メール、本当にうれしく、スタッフ一同喜んで拝読いたしました。実親を頼れない若者たちが、自分の力で生きていく力を身につける一助とさせていただきます。子どもたちの仕事・明るい未来に繋がるよう、大切に活用させて頂く所存です。</p>
<p>当法人は、刑務所及び少年院等の矯正施設を出所・出院する等した後に社会的援助が必要な方々を支援する団体である。埼玉県内に自立準備ホームを設置し、被保護者を一定期間居住させて自立に向けた支援を行っている。</p> <p>とりわけ就労に向けた支援に力を入れているが、被保護者のスキルアップ研修および職探し等の就職活動に使用する専用のパソコンがなく難儀している。未だ財政基盤脆弱で独自に購入調達する余力が無く、貴協会様よりご支援頂くことができれば被保護者の就労支援に大変大きな支えとなる。</p>	<p>経営基盤を強固にするため、委託依頼を増やすことに加え寄付金募集や独自商品の開発・販売等計画。また被保護者の就労先となる協力企業の開拓も継続的に行っている。昨年度以来、少年院出院等の被保護者への支援が増えており、これら若年層に適した就労支援のあり方を模索している。</p> <p>頂戴した御志を私どもの被保護者の支援に必ずや役立てます。この度のご寄付は私ども団体の助けになることは勿論、支援対象者の自立更生に大きく役立つと確信しております。ご支援に心より感謝申し上げます。</p>

(岡山県)

リース終了パソコンが必要な理由/リース終了パソコンを活用してどのような活動を行うのか具体的な計画	その他・今後の課題・将来的な計画等
事業内容の拡大や寄付者の増加に伴い寄付金受領証明書の発行等事務作業が増えており、職員によるデータ入力や資料印刷業務に活用したいと考えている。また、入院治療中や自宅治療中の児童生徒とは感染症対策や面会制限を続けており、オンライン会議システム「Zoom」を使ってテレビ電話でコミュニケーションやボードゲーム等遠隔での交流活動を行う際にも活用したいと考えている。	小児がんや心臓病、その他の内部疾患等の慢性疾病を抱える子供達は感染症対策や外出自粛している状況が続いている。当団体の活動もコロナ禍以降は保健所や医療機関との協議により対面での活動は休止をしている。一方で治療や学習、学校復帰に関する不安や悩みを抱える子供達や保護者家族同士でのピアサポート相談できる機会が減少していることや、どこに相談したらいいかわからないという事例が多く聞かれている。繋がる機会を積極的に作りながら、誰一人取り残さない社会づくりに取り組んでいきたい。この度はパソコン寄贈先として採択いただきありがとうございます。大切に活用したいと思います。

(熊本県)

リース終了パソコンが必要な理由/リース終了パソコンを活用してどのような活動を行うのか具体的な計画	その他・今後の課題・将来的な計画等
当法人では、親に頼れない子ども・若者を対象に自立支援・就労支援を行っている。昨年より緊急シェルター、相談窓口を開設し、事業を拡大している中で、相談や利用者のデータ管理や事務作業がかなり増えてきた。そこで、現在使用しているノートパソコンだけでは、対応できなくなっているため、是非貴法人の寄贈を希望する。	今年度後期より、熊本県の委託事業が始まることになり、子どもの権利に関する啓蒙・啓発活動にも力を入れていきたいと思っている。職員1人1人がパソコンのスキルアップができるよう子どもたちと対話する時間の他の時間を有効に活用し、事務作業時間の短縮を目指したい。

(大分県)

リース終了パソコンが必要な理由/リース終了パソコンを活用してどのような活動を行うのか具体的な計画	その他・今後の課題・将来的な計画等
	大事に使わせていただきます。

【特別支援学校支援】

(北海道)

パソコンの状況	使用目的	その他
GIGAスクール構想により、小学部・中学部の児童生徒に1人1台のタブレット端末が整備された。しかし、その端末を活用した学習活動を進めるための教師用端末の整備については、十分であるとはまだ言えない状況である。また、児童生徒の学習面では、キーボード入力やマウスの操作といった基本的な操作を練習するための学習者用パソコンの整備を充実させていくことが課題となっている。	①授業場面ではスライド教材や参考画像等を提示するための教師用端末。 ②Webカメラ内蔵の場合はオンライン会議システムを使用した授業への活用を検討。 ③堅ろう面での性能によっては、児童生徒がノートパソコンの基本的な操作を学ぶことへの活用を検討。	
授業で児童生徒が操作できるパソコンが数台しかないため、学習ツールを利用した学習を進めるのが難しい。	学習ツールを活用した学習環境を整える。また、インターネットを活用した調べ物学習やビデオ会議システムを利用したリモート授業で使いたい。	リース終了パソコンが届きました。授業等で生徒の学習のために活用させていただきます。本当にありがとうございました。

パソコンの状況	使用目的	その他
<p>本校には寄宿舎があり、全生徒が寄宿者で生活を送っている。校務の円滑な運営のために寄宿舎指導員にも1人1台パソコンを貸与している。主な用途として、生徒情報の管理や職員会議用資料の作成・閲覧、メールソフト等がありパソコンを使用せずに業務を進めていくことは困難であるが、寄宿舎指導員分のパソコンは予算措置されていないため、教職員用パソコン更新後の古いパソコンを使用している。現在寄宿舎で使用しているパソコンのOSは全てWindows8.1であるため、Windows10以降のOSを搭載した新たなパソコンを必要としている。</p>	<p>校務用パソコンとして寄宿舎で活用するため。</p>	
<p>ICT化が進み、ますますパソコンの需要が高くなっているが、北海道の予算は大変厳しく、Windows8.1のサポート終了に向けて、必要なパソコン台数を確保することが難しい状況であるため、今回のWindows10搭載のパソコンを寄贈して頂けるお知らせは大変ありがたい。</p>	<p>主に、教職員の校務用パソコンとして使用する予定。</p>	
<p>校内の一部のパソコンのOSは古く、更新の必要があるが、パソコンの整備方針により、職員数に対し整備対象のパソコン数が少ないため、業務で使用するパソコンが不足している。学校予算には限りがあるため、対応に苦慮している状況である。</p>	<p>古いパソコンを更新することで、校内ネットワークへ安全に接続し、円滑に業務を行う。</p>	<p>ご寄贈いただきありがとうございました。状態が想像以上に綺麗だったため、職員一同喜んでおります。大切に使用させていただきます。</p>
<p>教職員に1人1台、校務用パソコンは割り当てられているが、古いパソコンが多いことから、不具合が多い状況である。児童・生徒が使用するパソコンの割り当てはない。予備機がほとんど無く、現有の校務用パソコンが故障した場合に対応できなかつたり、教職員以外が使用するためのパソコンが不足している状況。</p>	<p>児童・生徒の情報活用能力を育成するために、児童生徒が調べ学習等で使用したいと考えている。また、教育実習生等教職員以外の人のパソコン活用のために使用したいと考えている。</p>	<p>この度はリース終了パソコンのご寄贈を賜り、心よりお礼申し上げます。今後の教育活動を充実させるために大切に使用させていただきます。</p>
<p>主な活用は、iPadが多く、プレゼンソフト等利用する場合にパソコンを使うことが多い。</p>	<p>タイピング練習や操作技能習得のためにも1台でも多くのパソコンを利用したい。</p>	
<p>職員に割りあてられているパソコンのうち、一部がとても古く（10年前）でできる限りの台数を更新していきたい。</p>	<p>校務用</p>	

パソコンの状況	使用目的	その他
現在のパソコンの使用状況について、ほとんどの児童生徒はタブレットを活用しながらの授業になっており、教職員については校務系パソコンで業務を推進しているところである。	現在パソコンの予備機がなく学習系パソコンが1台もない。特別支援学校という特性上、ICT機器の操作にこだわりのある生徒も多く、従来のパソコン操作に慣れている児童・生徒に対してのタブレット以外の使用ツールとして活用させたい。また、図書室での司書管理についても現在の校務系パソコンでの管理から、児童・生徒が委員会活動等で行えるように学習系パソコンとして確保したいと考えている。	
教員・児童生徒共に1人1台端末が割り当てることができている。	教育実習生が使用できる端末として準備する。	
月毎の生徒数の変動があり、台数が足りていない。学級調達もシリコン不足ということもあり、補充できていない。また指導用のパソコンも不足している。	Wi-Fiが使えない施設でのLAN環境での指導に使用。	
教職員用に対しては校務処理用として1人1台整備されている。また、全てパソコンは買い取りのため、10年以上稼働している機器も数台ある。	生徒が授業中に活用する情報端末として、現在はタブレット端末を活用しているが、就職等を見据えた進路指導において、パソコンを活用できる能力の育成が必要になると思う。しかしながら、本校における生徒用パソコンは、現在のところない。教師用パソコンは個人情報を扱うために、生徒に貸し出しすることができない。できる能力があったとしても実際に触る経験がなければ、その能力を一層伸ばす指導は難しいと思う。このパソコンがあれば、通常の授業はもとより、進路指導等にも照準を合わせた教育計画を立てることができ、常に活用できる機器として利用していきたいと考えている。	
昨年度、コンピューター室のパソコンが引き上げられることになった。暫定的にWindows8.1のパソコンをアップグレードしている。1人1台端末については、年次進行であるため、2・3年生については端末が無く、コンピューター室の利用において、不便な状況になっている。	コンピューター室での学習（調べ学習やキーボード入力練習等）。	
生徒が使用しているノートパソコンの台数が1クラス分しかなく、不具合等の際に対処できる使用可能な台数を確保できない。	生徒が授業や行事等で文書やデザイン等の作成等で使用する。授業の際、ノートパソコン等で1人1台での作業を行うため、万が一のパソコン不具合等に備え、生徒の授業等に不足が生じないよう予備的使用できるノートパソコンを確保したい。	
寄宿舎職員へのパソコンの割り当てがないため、学校で使用しなくなった古いパソコンを渡して使ってもらっているが、人数分を確保できず、またWindows7をネットワークにつながらずに使用している。円滑に業務を進めるためにも職員用パソコンの増強が必要である。	不足している寄宿舎職員用として配置使用していく。	

パソコンの状況	使用目的	その他
職員が使用しているノートパソコンで不具合が起こり、供給がまだ間に合っていない。不具合が出た場合は古いものを使用してしのいでいるのが現状。	不具合を起こした職員用パソコンの補填としての運用を予定している。	
Windows8.1のサポート終了のため、Windows10の3台のみとなってしまう。今回の件は大変ありがたい。	パソコン室でパソコンクラブ及び昼休みの生徒利用で考えている。パソコンクラブでは、タイピング練習を行ったり、インターネット検索等による調べ学習を行っている。	丁寧な梱包と新品のマウスに驚きました。大変よい状態で、Wi-Fiも反応しております。これから学校仕様にウィルス対策ソフトを入れるなどしてデビューさせたいと思います。ありがとうございました。
	児童生徒のうち、実態の高い子供で個別にかな入力やローマ字入力の学習を行えるように使用したい。パソコン室で現在あるパソコンも活用しているが、より慣れた空間で学習できるよう、寄贈をお願いしたい。	

封筒寄贈活動

* 特別支援学校からのメッセージ *

【北海道】

封筒の利用方法等
高等部職業の授業の中で、リサイクル製品（ポチ袋、再生封筒等）の作製や、リサイクル後のシュレッダー処理の活動等に活用する。非常にきれいな封筒をありがとうございます。活用例を参考に、本校の職業の授業で活用させていただきます。学習活動で自由に活用できる封筒やファイルがあるのは非常に助かります。リサイクル、リメイク作品だけでなく、軽作業における一人一人の作業スキルの向上等にも活用させていただきます。どれも綺麗な状態のもので、アイディア次第でいろいろと活用することができます。また、クリアファイルもまだまだ使えるきれいなものですし、付箋・メモ帳も立派なもので驚いております。学習活動の中で活用させていただきます。封筒は、主に校内で使用する袋等にもリサイクルをして活用しています。次年度も学習活動の中で活用させていただきます。こうした学習機会を提供していただきまして、ありがとうございました。

【秋田県】

押印、ラベル貼りの練習・使用後の封筒のシュレッダー作業。作業学習の充実につなげたい。 本校の生徒の実態が変わってきており、様々な作業種を準備したいと考えておりました。今回いただきました教材を活用して、個々の生徒に合った授業作りをしていきたいと思っております。この度は、様々な面でのご配慮をいただき本当にありがとうございました。
<ul style="list-style-type: none"> ・中学部校内実習（ラベル貼の練習、スタンプの押印の練習等） ・高等部校内実習（再生封筒の作成、ラベル貼、スタンプ押印、封入練習、封緘練習等）

【宮城県】

本校では、6月と9月に将来の職業生活を見据えて、「校内実習」というものに取り組んでいる。その際に進路先で行っている「封入作業の体験」に利用したいと考えている。

【群馬県】

ラベル貼り、封入の練習。
本校の就業体験の一環として行っている校内実習においてオフィスアシスタント業務を作業種として取り上げたいと思っている。その準備として封筒が大量に必要なので、提供して頂けたら大変ありがたく活用させて頂きたいと思う。よろしく願いいたします。
とてもたくさん、しかも状態の良いものをお分けいただき、職員が歓声を上げて喜んでおりました。本当にありがとうございました。早速2学期の実習で活用させていただきます。封入練習用のパンフレット・冊子なども受け取りました。封入の練習にバリエーションがもたせられると係の教員が本当に感謝しておりました。
作業学習におけるラベル貼り、封入の練習。アビリンピック「オフィスアシスタント」の練習。
封入の学習を行っているので、その際に活用したい。 日々の教育活動で活用させていただきます。誠にありがとうございました。
仕分けや封入の作業に利用させて頂く。

【埼玉県】

封入訓練・リサイクル製品作り等。

【三重県】

県内アビリンピック大会、オフィスアシスタント参加に向けた練習で活用したい。現在、職業教育の学習内容を見直し、就労に向けた取組をスタートさせたところである。三重県にもオフィスアシスタントのアビリンピックがあり、チャレンジしていきたいと考えている。

進路指導とその一貫で行う校内実習の中での作業に利用したい。就労に向けた学習として、就労現場で行う可能性のあるラベル貼り等の作業に慣らしていきたいと思う。

たくさん送っていただきありがとうございます。高等部生徒の進路実現に向けた学習で活用させていただきます。本校の教育活動へのご理解ご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

【大阪府】

〔ADL 仕事〕封入作業を通して仕事について学習、〔美術〕観察しながら作品に活用、〔ADL 道具〕封筒を切る、封筒に貼る等の作業学習、〔家庭〕封筒を折る等の作業学習

たくさんのお封筒をいただきましたので、中学部全体で大切に使用させていただきます。

【奈良県】

本校では、流通サービス等の授業で、書類3つ折り、ラベル貼り等の作業学習に取り組んでいる。また、出場部門は異なるが、毎年アビリンピックにも出場し、奈良県代表として、全国大会にも出場経験がある。ぜひ、本校のこのような取り組みに活用させていただきたいと思う。よろしくをお願いします。

アビリンピックの練習や流通サービスなどの授業での作業学習に活用させていただきました。生徒たちは本物の封筒を使い、よりリアルな作業を行う機会を与えていただき、生き生きとそして「お仕事」という緊張感をもって作業を行うことができました。本当にありがとうございました。

「職業」の時間の作業学習で使用する。紙袋を作成したり、ラベル貼り等の軽作業に使用したいと考えている。

生徒に有効に活用できるようにしたいと思います。ありがとうございました。

高等部の作業学習の一つである「仕事」の授業において、頂いた封筒に宛名シールを貼る活動を行いたい。（後処理としてのシュレッダー処理活動等も見据えている。）決められた枠内に宛名シールを貼る作業を通して、将来商品に商品名等のシールを貼る活動に活かしてほしいと考えている。

【石川県】

スタンプ押印の練習。封筒加工製品。

【福井県】

シール貼りの作業・封筒のリサイクル製品作成。

【鳥取県】

再生封筒の作成、封入・封緘の練習。本校は、幼稚部・小学部・中学部・高等部があります。高等部が中心となると思いますが、学校全体の学習で使わせていただきたいと思います。ありがとうございました。

押印、ラベル貼り、封入等の練習に利用予定。

本日、封筒と寄贈品の箱を受け取りました。学習に活用させていただきます。どうも、ありがとうございました。

【岡山県】

知的高等部職業コース1～3年生の授業で封入作業・封筒作成に利用させて頂く。

作業学習でラベル貼り、押印等封入作業の練習に活用。

職業の授業で「オフィスアシスタント」の練習として使用。学校・家庭間の連絡袋として再利用。

封筒の送付、ありがとうございました。「再利用封筒」であることを示す紙をどのようにデザインするか、生徒たちにじっくりと考えてもらい校内で楽しく使えるようにしていきたいと考えています。

【愛媛県】

アビリンピック「オフィスアシスタント」の練習（ラベル貼り、仕分け、封入等の練習）。

【福岡県】

ラベル貼りの練習、封緘の練習、枚数のカウント練習、スタンプの押印練習等に活用させて頂く。

【熊本県】

進路学習の中で、ラベル貼り、スタンプ押しの練習に使用する。アピリンピック「オフィスアシスタント」の内容を取り入れた学習に使用する。

生徒の活動に大切に活用させていただきます。

封筒を大きさごとに分別・ラベル貼り・宛名書き・個人情報保護のためのスタンプ押し・指示された文書の封入等。

ラベル貼りの練習、封緘の練習、スタンプ押印の練習等。

この度、作業学習教材として、未使用封筒を御提供頂き、誠にありがとうございました。生徒たちは、実社会での仕事の場面に即した学習に取り組む中で、丁寧に作業をすること、事務用品を適切に使うこと等、生徒の学びにつながることができました。今後も生徒の自立と社会参加につながる取組を深めていく所存です。今回御提供頂いた封筒は、年間を通して、室内軽作業における封入、封緘等の作業に活用させて頂きました。

本校の中学部において、作業学習時に紙すき材料として利用する。

封入・封緘・スタンプ押し等軽作業練習。

校内実習でこれまでお世話になっていた事業所様が今年度で業務を一部終了されることになり、今後、校内での軽作業体験をどうしようかと思っていたところでした。活用が少し先になるかもしれませんが、提供いただきました事業所様のプライバシー保護を遵守し、活用させていただきます。立派なものをたくさんありがとうございます。事業所様の名称を紙で覆う作業を少しずつ進めておき、授業で使える機会に備えたいと思います。

【宮崎県】

作業学習でのラベル貼り、押印の練習やシュレッダー作業等で使用。

たくさんの量の寄贈品に、職員一同喜んでおります。たいへんありがとうございました。活用法などについての話しも盛り上がり、今後の学習の広がりを感じたところです。生徒の成長につながるよう、大切にに使わせていただきます。

【大分県】

作業学習教材として活用。再生封筒の作成、ラベル貼りの練習等。新型コロナの影響により、これまで近隣の企業等から提供頂いていた作業学習教材が大幅に減ったため大変有難い。

大変ありがとうございました。来年度の作業学習に活用できるよう、さっそく使わせていただいて準備を進めてまいります。